

令和7年度の各種大会・レクリエーションから令和8年度へ…

競技部

- ① 全体的には、各団の御理解・御協力のおかげで円滑に運営が行われ、計画していた全ての大会を開催することができた。
試合時間の確保を優先するため、令和8年度も開閉会式は行わずに大会を実施することとする。
- ② 選手による記録のつけ方やラインジャッジや審判をされる方々のさらなる技術の向上が必要である。
→ 市連絡協議会主催の審判勉強会等を計画する。各地区や各団でも練習の機会を設けるように心がける。また、各大会等で、場合によっては審判部役員を中心に助言していく。
審判勉強会Ⅰ : 11月14日(土) 喜入総合体育館(希望者)
審判勉強会Ⅱ : 3月13日(土) 鹿児島市民体育館(希望者)
県公認審判資格審査会: 令和8年度は鹿児島市での実施予定なし
- ③ 市連絡協議会のチーム全体でレベルアップに繋がるような機会として、バレーボール教室等を実施した。(8/17 フラーゴラッドによるバレー教室、12/21 鹿児島女子短期大学バレー部によるバレー教室)
→ 8年度は次のとおり開催する。
合同練習会 : 12月20日(日) 喜入総合体育館
(鹿児島女子短期大学バレー部によるバレー教室)
- ④ 体育館使用のマナーについて、各体育館側から注意や指導を受けないように徹底する。
 - ・ロビーで騒がない、走らない
 - ・スタンド最前列で、乳児を抱っこしての応援をしない
 - ・玄関前までの無断乗り入れをしない
 - ・弁当がらの未回収がないように徹底する。
 - ・スマートフォンの充電等に電源を使用しない
 - ・おむつ等の汚物は持ち帰る。
 - ・洗面に氷を捨てない
 - ・写真や動画を広く一般向けに公開されるSNSやライブ配信等にアップしない
 - ・駐車場のスペースに限りがあるため、なるべく乗り合わせをお願いします。(同日に他の競技も実施している時は特に駐車スペースが足りないため、ご協力ください。)※ホームページで台数制限の案内を出すことがあります。

→ 一人一人が振り返り、市全体として改善していきましょう。
- ⑤ コートの設営の仕方の共通理解が必要である。
※ベンチイスの並べ方は、鹿児島市連絡協議会主催(主管含む)の大会では、原則としてアタックラインから9脚並べることとする。

- ⑥ 市連絡協議会主催の大会の試合球は、原則、ミカサとモルテンを交互に使用する。
(県大会に繋がる予選は県に準ずる。試合球の提供を受ける場合はそのボールを使用)
- ⑦ 熱中症予防など団員の体調面の考慮と併せて、指導者や育成会が参加しやすい日程の配慮及び会場確保の状況を踏まえ、市スポ少競技別交歓大会・夏季大会を予選・決勝トーナメントの2日間開催とした。(夏季大会の女子パートは空調設備のある会場で1日開催)
→ 8年度については、上記の大会は可能な限り空調設備がある会場で実施するよう計画したが、会場確保の状況により、一部、予選・決勝トーナメントの2日間で開催する。
- ⑧ 昨年度の新人大会の結果を参考に、今年度の春季大会のパート分けをする。
なお、7年度より混合パートについて、男女の人数規定は撤廃。
【混合Aパート：16チーム】
(決勝トーナメント上位16チームを基本とする)
【混合Bパート：上記以外のチーム+α】
(決勝トーナメント下位チーム+予選敗退チーム+新人大会不参加+新規)
- ※ 女子パート・男子パートは、現段階では1パートで開催する予定。
- ⑨ 対象大会(春季大会、夏季大会、秋季大会)の結果により、次大会は、原則Aパート下位4チームとBパートの上位4チーム入れ替える。(ただし、参加チーム数によっては、入替チーム数に変更になる場合もあり)新規参加の場合は、Bパートスタートとする。
また、対象大会に出場できなかった場合、自動的に入れ替え対象チームとなる。
- ※ A・B2パートに分ける場合、Aパートは原則12～16チームで開催する。Aパートに棄権等があった場合、成績を参考にBパートからAパートへ移動していただく場合もある。
- ⑩ 市連絡協議会主催の大会のシードは前回大会の成績を優先する。その他シードについては、以下のとおりとする。
- ・全日本小学生大会県大会支部予選・・・県新人大会の成績を優先し、次に春季大会の成績
 - ・県男女優勝大会(安藤旗)支部予選・・・全日本小学生大会県大会支部予選の成績
 - ・市スポーツ少年団交歓大会・・・春季大会の成績

昨年度も、あらゆる面で御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。
今年度も、主役である子ども達のために御協力をよろしくお願い致します。